

平成26年4月22日

上ノ国町議会議長
若 狭 大四郎 様

氏 名 尾 田 孝 人 

平成25年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成25年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名
別紙のとおり

2 政務活動内容
別紙とおり

3 政務活動成果
別紙のとおり

- 注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)
- 2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

平成25年度政務調査事業報告書

平成25年度北海道大学市民公開・農学特別講演会
「農と食が創る持続的な社会」

日時 9月27日 13.30~16.50

場所 北海道大学農学部講堂



平成25年度
市民公開
農学特別講演会

農と食が創る 持続的な社会

入場無料 (申込不要)

平成25年
9/27 (金)
13:30~16:50

主催者挨拶 13:30~13:40

講演1 13:40~14:40
食の安全を考える
農林水産省入札官団体の事務室課長 別所 賢博

講演2 14:40~15:40
**北海道における持続的
家畜生産システム**
北海道大学大学院農学研究院教授 近藤 誠司

講演3 15:50~16:50
**低炭素・循環・自然共生社会
の実現への取り組み**
北海道大学大学院農学研究院教授 大崎 満

北海道大学農学部
4階大講堂
(札幌市北区北10条5丁目)

お問い合わせ先
北海道大学農学部 農学特別講演会事務局
〒060-0810 札幌市北区北10条5丁目1-1
北海道大学農学部 4階大講堂
TEL: 011-643-5611 (受付時間: 9:00~17:00)



北海道大学農学院・農学研究院・農学部では、同窓生、市民、教職員、学生を対象として、9月27日（金）13時30分から、農学部大講堂において「市民公開・農学特別講演会」を開催された。

この講演会は明治31年に発足した札幌農林学会が開催してきた学術講演会を継承・発展させたもので、100年以上の歴史があり、平成9年からは「市民公開・農学特別講演会」と名称を改め、広く一般市民の方々に公開されるようになった。

今年は「農と食が創る持続的な社会」のテーマで開催。当日は、同窓生や市民などなど170余人の参加があり会場は満席となっていた。

丸谷農学研究院長が挨拶



農林水産省大臣官房技術総括審議官・別所智博氏が「食の安全を考える」と題して講演



食の安全を食料の安定供給と食品安全に整理し、それぞれ我が国の現状と今後の在り方について論じられ、特に食品の安全性について、基本的な考え方と食品安全行政の取り組みについて講演した。(別紙資料)



続いて、近藤誠司教授が「北海道における持続的家畜生産システム」について講演。

草食動物の効果的な利活用は、食料自給率の向上とともに循環型の家畜生産を持続できる可能性を持っており、北大農学部は、我が国における草食動物を利用した持続的家畜生産システムの拠点となっていると報告した。

最後に大崎満教授が、「低炭素・循環・自然共生社会の実現への取り組み」の講演。

日本の伝統的農業社会は、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を達成してきたモデル社会であり、これに現代の智慧と最適技術を組み合わせて、国が進める「環境未来都市」の可能性について説明した。(別紙資料)

講演後、予定時間を超えて活発な質疑応答が行われ、「農と食が創る持続的な社会」と題した講演会は、今後の農業のあり方、位置付けを農業に関わる人々が、その重要性を論理的に自らの確信として、取り組んでいくことについて大変有意義な講演会を受講することができた。